

こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌

2021.9
vol.66

ご自由にお持ち帰りください



世界文化遺産 「厳島神社」

厳島神社(いつくしまじんじゃ、公式表記: 厳島神社)は、広島県廿日市市の厳島(宮島)にある神社。式内社(名神大社)、安芸国一宮。旧社格は官幣中社で、現在は神社本庁の別表神社。神紋は「三つ盛り二重亀甲に剣花菱」。

文・写真引用元: Wikipedia/写真AC

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の権利が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえで受けください。分からないことは、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

ロボット支援消化器癌手術

— ロボット支援胃癌手術100例達成 —

外科 山井 礼道

2018年5月に導入したロボット支援胃癌手術が100例（2021年8月21日現在117例）、2020年12月に導入したロボット支援直腸癌手術も10例（2021年8月21日現在13例）の保険適応をクリアし、2021年8月から胃癌、直腸癌共に保険診療内で診療を行っております。今回、消化器癌ロボット支援手術についてご報告致します。

高知赤十字病院とロボット支援手術についての歴史ですが、前々院長の中村院長時代に前立腺癌に対するロボット支援手術が保険収載された経緯でIntuitive社が販売するダビンチSiを導入致しました。現在、本邦における前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘術の施行割合が90%台となっていることを考えると、先見を見据えた積極的な導入であったと考えられます。2018年4月からは消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科等でロボット支援手術が保険収載されました。当院の消化器外科は施設基準上、胃切除術、直腸切除術が導入可能となっており、第一導入

術式として胃切除術を選択し、2018年5月からロボット支援胃癌手術を導入、さらに2021年2月から新型のダビンチXの導入が決まったことに伴い2020年12月からはロボット支援直腸癌手術を導入致しました。

ロボット支援手術の説明を致しますと、ロボット支援手術は腹腔鏡とほぼ同じポート位置、大きさで、臍部約8mmのポートからロボットのカメラを挿入、3ヶ所の各8mmのポートからロボット鉗子を挿入、そして、助手がアシストする1ヶ所の15mmポートから随時、助手も手術のサポートを行います。多関節機能（鉗子の先端に2ヶ所の関節がある）、モーションスケール機能（手





胃がん手術の現状を報告いたしますとロボット支援胃がん手術が117例、内訳は全摘10例、噴門側胃切除22例、幽門側胃切除

の動きの1/1.5、1/3にロボット鉗子の動きを変換できる機能…この機能のおかげでお米にも字が書けます、手ぶれ防止機能、3D手術画像等々といった従来の腹腔鏡が有しない機能を有しております。一方で触覚が無いこと、把持力のコントロールが難しいこと、慣れに時間を要すること、手術に用いる機器のバリエーションが少ないこと、術者が限定されることなどが問題に挙げられております。個人的には高額機器に見合うだけの機能を有した非常に有用な手術支援機器と感じております。今後、ますますロボットの開発が進み、能力が向上することを考えると、将来、ロボット支援手術が標準的になる可能性は極めて高く、課題はコストと施設集約と言っても過言ではないと思っております。

胃がんにおいては腹腔鏡より脾液瘻発生頻度が低下すること、出血量が減少すること、有用性が報告されており、直腸癌では神経温存が確実に行えることから排尿障害の低下、性機能の温存等で有用性が報告されております。

術85例となっております。同時期の開腹手術は1例で腹腔鏡手術が5例でした。平均年齢は70±12歳、術後平均在院日数が7.9日、侵襲的処置や再手術は縫合不全に対して局所麻酔下のドレナージを行った1例のみで、術後成績は優れた成績でした。早期癌から進行癌まですべてをロボット支援手術の適応とし、2020年のロボット支援胃がん手術の症例数は全国13位の38例で、中国では2番目に多い症例数となります。胃がんの施設基準に胃がん手術が年間50例以上と比較的高いハードルがありますが、当院は消化器内科が消化管拡大内視鏡、消化管ESD、胆膵領域におけるEUS診断等の領域です。基準をクリアしております。消化器内科、消化器外科の強力なタッグのもと、内視鏡診断、処置から腹腔鏡、ロボット手術まで、日本最先端の治療を高知県内で、をモットーに更なる発展を期しているところです。引き続き、高知赤十字病院の支援、病診連携を何卒よろしくお願い致します。消化器グループは地域の講演会、手技指導・支援を積極的にサポート致します。ご希望がありましたら高知赤十字病院地域連携室または広報課にご連絡ください。



当院の災害対策本部訓練について



新型コロナウイルス感染症が災害レベルと言われるこの頃ですが、高知県で災害といえば忘れてはならないのは南海トラフ地震です。当院は県内に12

か所ある災害拠点病院のなかでも、高知医療センター、高知大学医学部附属病院とならび広域的な災害拠点病院に指定されており、南海トラフ地震の際には県下全域の主として災害拠点病院を支援することとなっております。そのため種々の訓練を行っていますが、なかでも重要なのが病院の「頭脳」にあたる災害対策本部の訓練です。発災から本部機能開始までを想定した訓練を、病院全体の訓練と連携して年2回行っており、内容は災害対策マニュアルに基づいています。「発災」後、実際に使用される災害対策本部の場所に、院長・副

長、看護部長・副部長、事務部長ほか前もって決められている本部要員が参集し、役割分担を確認しつつ、ホワイトボード、通信機器、パソコン等を設置し本部の立ち上げを行います。その後、患者および家族、職員、設備、機器等の被災状況の確認、院外の被災状況の確認、県庁や日本赤十字社高知県支部等との連絡体制の確立、多数患者受け入れ、救護班やDMAT等医療チームの受け入れ等が、円滑に開始できるよう訓練を進め終了、災害対策マニュアルの見直しを行っております。今後も当訓練ほか種々の訓練を継続し、県民の皆様に迅速かつ適切な災害時の医療を提供できるよう、尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



おすすめお手軽レシピ

管理栄養士 川竹 千佳

さつまいもとビーンズの豆乳スープ

■材料(2人分)

さつまいも・・・ 50g
ミックスビーンズ 15g
ベーコン(ブロック) 15g
玉葱…………… 10g
バター…………… 3g
かいわれ…………… 3g
水…………… 80cc
コンソメ…………… 2g
無調整豆乳… 100cc
塩……………少々
コショウ……………少々

■栄養成分: 1人分

エネルギー 245kcal
たんぱく質 7.6g
食塩 1.3g

作り方

- 1 さつまいもは皮つきのまま1cmの角切りにして、水にさらす。
- 2 ベーコンと玉葱も1cmの角切りにする。
- 3 鍋にバターを入れて熱し、サツマイモとミックスビーンズ、ベーコン、玉葱を入れて炒める。
- 4 全体にバターがなじんだら水とコンソメを入れて弱火で煮込む。
- 5 さつまいもが柔らかくなったら無調整豆乳を加え沸騰直前で火を止め、塩コショウで味を整える。
- 6 器に盛り付けいたら、かいわれをちらす。



秋に旬を迎える「さつまいも」。最近は店頭でもいろんな種類のサツマイモを見かけますね。夏の暑さが落ち着き、少し夜が涼しくなる秋にほっこりとするサツマイモの豆乳スープをご紹介します。さつまいもは、ほくほくとした食感と糖度が高いことが特徴の、「鳴門金時」を使用しました。ミックスビーンズや、サイコロ上にカットしたベーコンの食感も楽しめますよ。さつまいもには食物繊維が多く含まれています。また、豆乳に含まれるオリゴ糖はビフィズス菌や乳酸菌の栄養源となり善玉菌を増やす働きがあるため、便秘気味の方にはうれしい一品となりそうですね。

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

